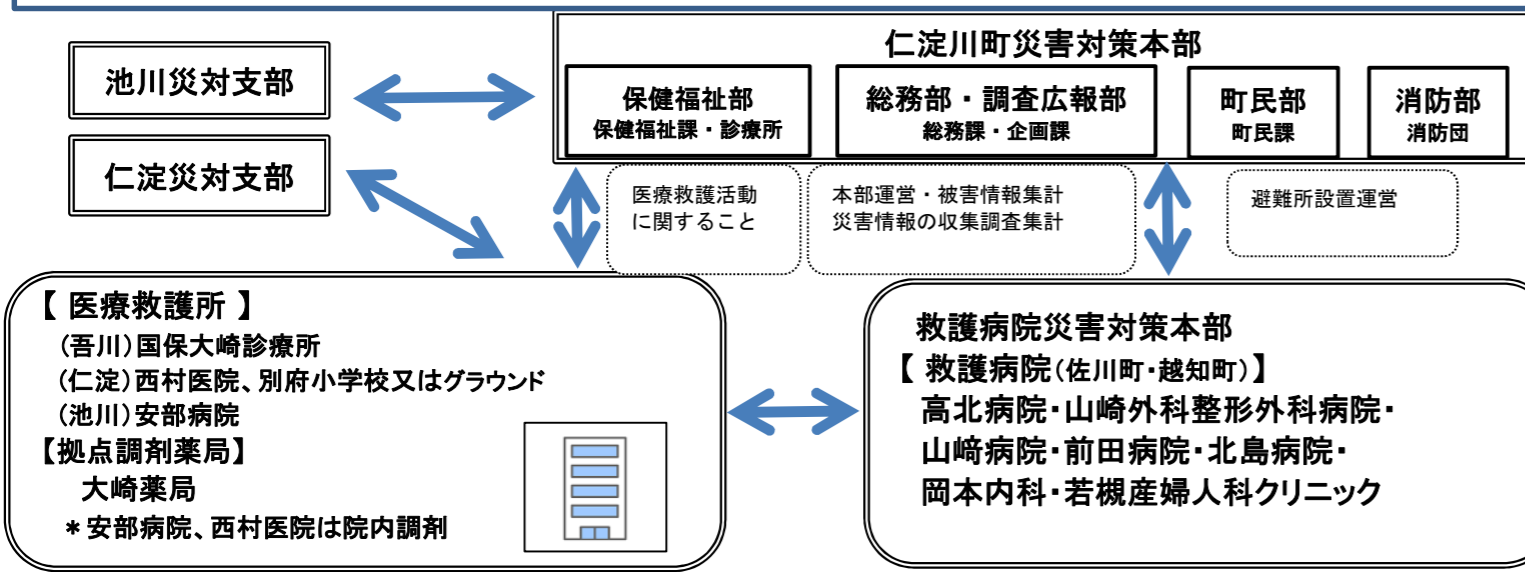


# 仁淀川町の医療救護の目指す姿

南海トラフ地震(L1)、夏の昼12時に発生したと想定

仁淀川町災害対策本部は、救護病院等の医師の医学的な助言を受け、町全体の医療救護活動の総合調整を行います。災害時は、町内の人や物を総動員し、官民協働の総力戦による医療救護活動体制を迅速に整備し、助かった命をつなぎます。



**仁淀川町の人口** 5,679人(H29. 3. 31現在)

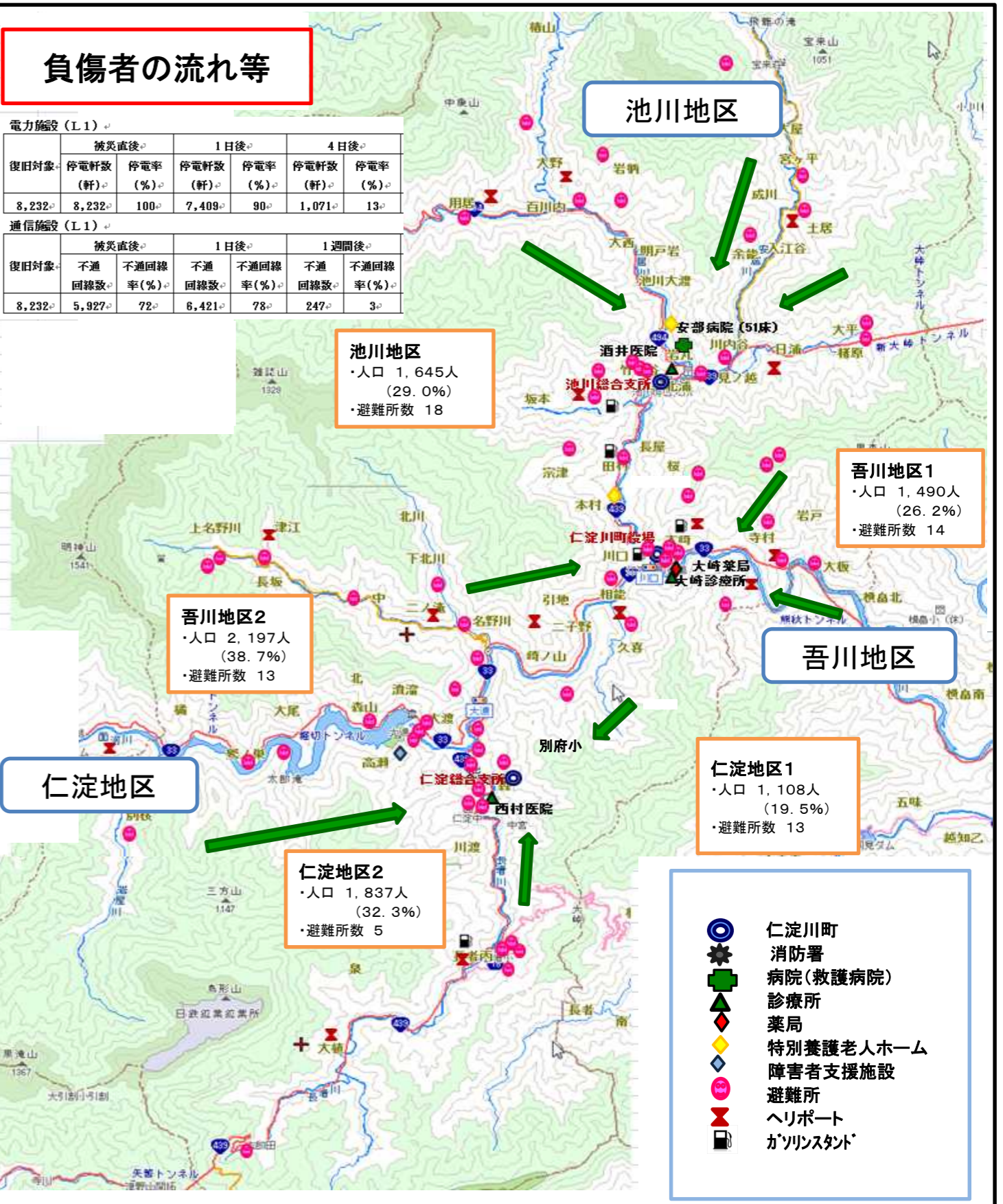
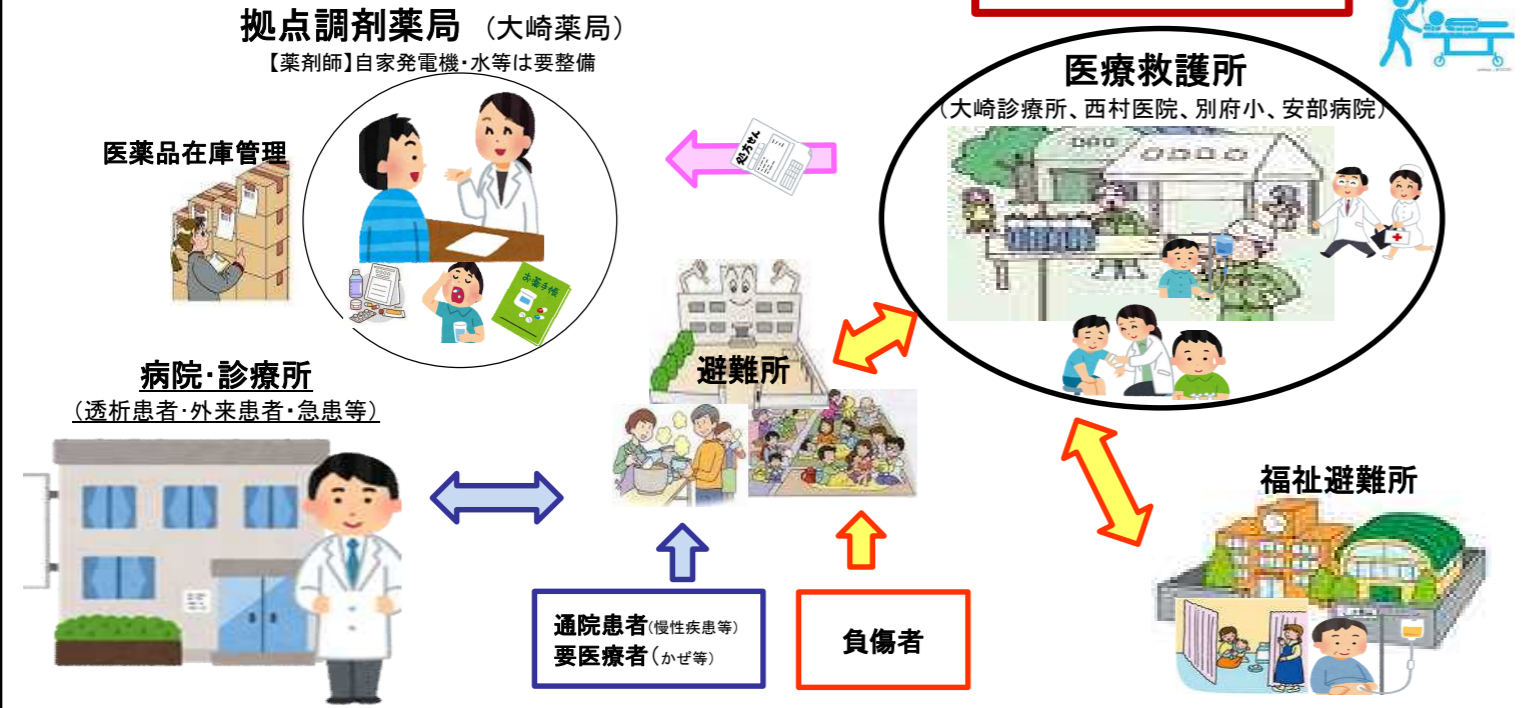
- ・死亡者数 (-) ・避難者数 8人
- ・負傷者数 23人 (● 2人 ● 5人 ● 16人)
- L2→死亡者数 15人 ・避難者数 516人
- 負傷者数 493人 (● 49人 ● 99人 ● 345人)

**【町内の医療機関等】**

- ①病院 1→ 医師10名(町内在住数 1名) 看護師16名(町内在住数 3名)
- ②無床診療所 3 → 医師5名(町内在住数 4名) 看護師15名(町内在住数 9名)
- ※救急救命士 1~3名(仁淀川分署) 救急車両台数 1台
- ③薬局 1
- ④特別養護老人ホーム 2(100名) ⑤障害者支援施設1(50名)

**災害拠点病院(土佐市民病院、仁淀病院)・救護病院**

- ・重症患者(赤)
- ・中等症患者(黄)
- ・重点継続医療者(酸素療養者)



- 目指す姿の実現に向けた課題**
- 1 住民への普及啓発: 町内の医療救護体制の周知、応急手当の習熟、避難時のお薬手帳や常備薬の持参
  - 2 医療従事者(医師、看護師、薬剤師)の応援体制の確立
  - 3 中等症患者及び重症患者の救護病院等への搬送手段の確保
  - 4 災害医療救護訓練を通じた各機関(佐川町、越知町及び仁淀川町等)の連携体制の強化